

研究課題名「膵癌における GnP 療法後二次治療としての FOLFIRINOX と nal-IRI+5FU/LV の比較」に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年1月1日～2020年12月31日に当院で切除不能・術後再発膵癌に対して一次治療としてのゲムシタピン+nab パクリタキセル療法後に、二次治療としての FOLFIRINOX もしくは二次治療としての nal-イリノテカン（オニバイド®）/5FU+ロイコボリンの治療を受けた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

切除不能・術後再発膵癌に対するゲムシタピンを含む一次治療後、二次治療として nal-IRI（オニバイド®）+5FU/LV が保険収載されました。しかし、一次療法としてのゲムシタピン+nab パクリタキセル後、二次療法として FOLFIRINOX と nal-IRI（オニバイド®）+5FU/LV の優劣については明らかになっていません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、抗がん剤の治療歴、がんの進行状況、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学

TEL: 052-744-2245 FAX: 052-744-2252

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・猪川祥邦

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘